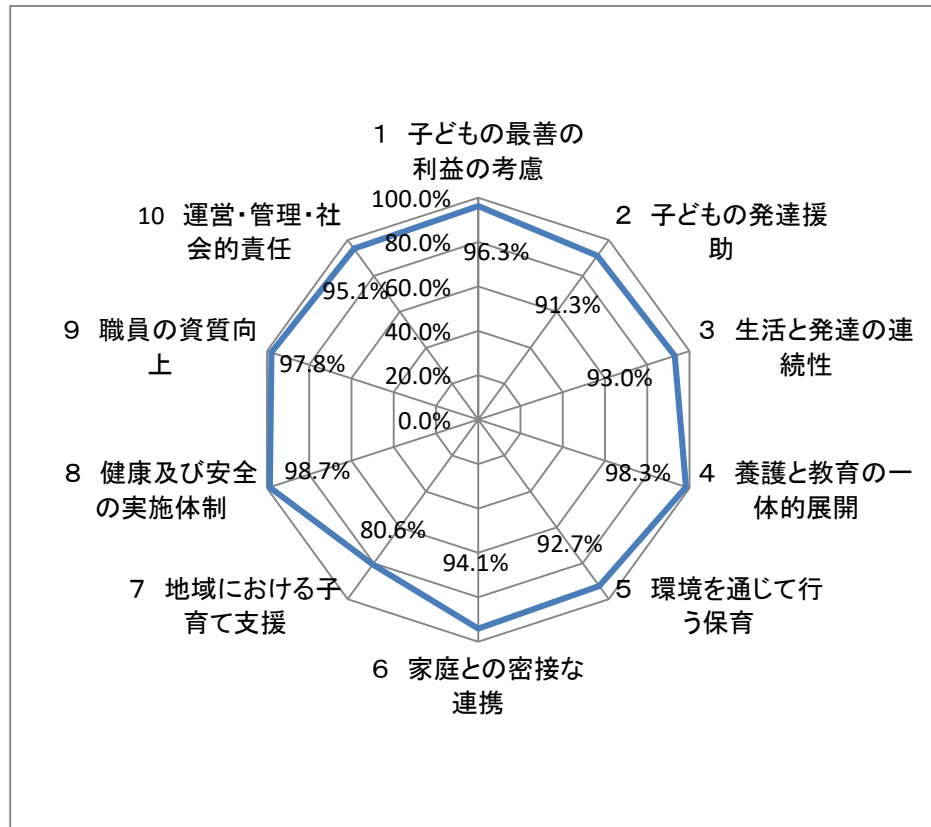


令和6年度 保育所自己評価の結果について

令和7年3月15日

ゆうゆうきず横浜

1 職員の自己評価（令和7年2月実施） （「十分理解している」・「理解していると」回答した割合）



2 取り組み状況

（努力した点）

- ・子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育に取り組んだ。戸外活動では近隣公園や屋上園庭にあわせ、園内ホールなども活用し、多くの遊びから運動量の確保に努めた。
- ・職員研修の充実を図り、先駆的に取り組んでいる他園の見学や姉妹園との交流を進め、職員主体の業務改善への取り組みがより積極的に実施された。また継続的に行っている「あそび・食育」各委員会活動を活発化させ、保育実践に活かした。
- ・安全管理委員会において遊具等の安全点検や嘔吐処理、乳幼児対象の救命救急法・AED操作・熱性けいれんの対応、エビペンの使用法などを継続的に学んだ。
- ・地域連携、交流を図るため、避難訓練の際に消防署・警察署との模擬訓練を行い、また社会福祉施設や小学校への園児訪問、高校生の職業体験ボランティアを受け入れた。

（課題・改善点）

- ・家庭との密接な関係や地域における子育て支援など「子どものしあわせとお父さんお母さんの子育てを支援します」という保育理念をより一層、職員に浸透させ推進していけるよう努力していく。
- ・本年度末から更なるICT化を促進するため、登降園管理システムの強化、電子連絡帳の整備、利用者支払い機能の向上を図り、次年度に向け定着させていく。